

1. 平成 30 年度 活動報告

1.1. 委員会について

平成 30 年度は下記の体制にて活動しました。

委員長： 島内末廣（金沢工業大学）

副委員長： 古家賢一（大分大学）， 渡邊貫治（秋田県立大学）

幹事： 武岡成人（静岡理科大学，会計担当）， 松井健太郎（日本放送協会，企画担当）

幹事補佐： 井本桂右（立命館大学，広報担当）， 森川大輔（富山県立大学，広報担当）

委員； 青木直史（北海道大学）， 荒木章子（日本電信電話），

伊藤信貴（日本電信電話）， 岩谷幸雄（東北学院大学），

榎本成悟（情報通信研究機構）， 大谷真（京都大学），

小野一穂（日本放送協会）， 折本寿子（県立広島大学），

亀岡弘和（日本電信電話）， 北村大地（香川高等専門学校），

木下慶介（日本電信電話）， 小山翔一（東京大学），

近藤和弘（山形大学）， 鮫島俊哉（九州大学），

杉本岳大（日本放送協会）， 薗田光太郎（長崎大学），

谷川将規（清水建設）， 菅木禎史（千葉工業大学），

戸上真人（LINE）， TREVINO Jorge（東北大学），

中山雅人（大阪産業大学）， 西川剛樹（パナソニック），

西村竜一（情報通信研究機構）， 羽田陽一（電気通信大学），

藤坂洋一（リオン）， 堀内俊治（KDDI 総合研究所），

水町光徳（九州工業大学）， 宮崎亮一（徳山工業専門学校），

宮部滋樹（筑波大学）， 三好正人（金沢大学）

※ 敬称略・五十音順

1.2. 研究会について

平成 30 年度は全 7 回の研究会を開催しました。開催月日，開催地，テーマ，共催，講演件数，頁数及び参加者数は下表のとおりです。6 月には、前年に引き続き情報処理学会音楽情報科学研究会音学シンポジウムに協賛しました。

表 1 平成 30 年度 応用・電気音響研究会 活動報告（7 回）

開催月日			開催地	テーマ (一般は省略)	共催 ^{*1}	件数	頁数	参加 者数
月	日	曜日						
4			休会					
5			休会					
			休会					
6	(16) (17)		(東京大学)		(情報処理学会音楽情報 科学研究会音学シンポジ ウムに協賛)			
7	24 25		北海道大学	応用／電気音響, 聴覚, 建築音響, 音響教育	日本音響学会聴覚研究会, 日本音響学会建築音響研 究会, 日本音響学会音響教 育研究会	27	163	54 42
8	23 24		東北学院大学	応用／電気音響, 聴覚	日本音響学会聴覚研究会	26	159	61 45
9			休会					
10	11 12		いわき産業創造 館（いわき市）	応用／電気音響, 聴覚		9	66	30 30
11	21 22		ホテルこうしゅ うえん（輪島市）	<ビギナーズセ ッション>応用 ／電気音響, 聽 覚, 音楽情報科 学, コンテンツ処 理, 電子透かし	日本音響学会聴覚研究会 マルチメディア情報ハイ ディング・エンリッチメン ト研究会 (連催) 情報処理学会音楽 情報科学研究会	32	171	55 52
12	13 14		九州大学	応用／電気音響		13	80	20 16
1	22 23		同志社大学	応用／電気音響, 超音波	<音響・超音波サブソサイ エティ合同研究会> (併催) 超音波研究会, 日 本音響学会超音波研究会	6	36	66 38
2			休会					
3	14 15		アイランドナガ サキ（長崎市）	応用／電気音響, 音声, 信号処理	音声研究会 信号処理研究会 (協賛) IEEE SPS KC/SC	63	358	118 88
合計						176 (178)	1033 (991)	715 (712)

*1 IEEE SPS Tokyo Joint Chapter は毎月協賛

11 月には、前年度に引き続いて学生セッションを実施し、電気音響研究会学生研究奨励賞を選奨しました。12 月には、今年度初めて九州地区で電気音響研究会学生研究奨励賞を選奨しました。それぞれ 1 名に授与しました。また、1 月の超音波研究会との併催研究会では、電子情報通信学会 音響・超音波サブソサイエティ学生研究奨励賞を選奨し、2 名に授与しました。

過去 5 年間の講演件数及び参加者数の変遷を示します。

年度：講演件数（平均件数／開催日数）／参加者数（平均参加者数／開催日数）（開催回数）

平成 25 年度：128 件（9.1 件／14 日）／608 名（43.4 名／14 日）（9 回）

平成 26 年度：130 件（10.0 件／13 日）／599 名（46.1 名／13 日）（8 回）

平成 27 年度：136 件（12.4 件／11 日）／622 名（56.5 名／11 日）（6 回）

平成 28 年度：152 件（11.7 件／13 日）／573 名（44.1 名／13 日）（7 回）

平成 29 年度：178 件（12.7 件／14 日）／712 名（50.9 名／14 日）（7 回）

平成 30 年度：176 件（12.5 件／14 日）／715 名（51.1 名／14 日）（7 回）

講演件数、参加者数とも昨年並みの水準となりました。

1.3. 研究発表会及び大会について

日本音響学会秋季及び春季研究発表会は前年度に引き続き盛況となり、下記の講演件数となりました。

2018 年秋季： 122 件（うちポスター 79 件、共催を含む）

2019 年春季： 117 件（うちポスター 72 件、共催を含む）

合計： 239 件（うちポスター 151 件）

また、電子情報通信学会ソサイエティ大会及び総合大会は下記の講演件数となりました。

2015 年ソサイエティ大会： 9 件

2016 年総合大会： 9 件

合計： 18 件

1.4. 今後の検討課題

12 月に、今年度初めて九州地区で電気音響研究会学生研究奨励賞を選奨しました。11 月の北陸地区と併せて年 2 回の選奨となります。次年度も継続を予定しておりますが、その実施方法や件数については引き続き検討していきます。

2. 平成 31 年度 活動計画

2.1. 委員会について

平成 31 年度は下記の体制にて活動する予定です。

委員長： 古家賢一（大分大学）

副委員長： 島内末廣（金沢工業大学）, 武岡成人（静岡理科大学）

幹事： 松井健太郎（日本放送協会、会計担当）, 小山翔一（東京大学、企画担当）

幹事補佐： 井本桂右（立命館大学、広報担当）, 森川大輔（富山県立大学、広報担当）

委員； 青木直史（北海道大学）, 伊藤信貴（日本電信電話）,

岩居健太（立命館大学）, 岩谷幸雄（東北学院大学）,

榎本成悟（パナソニック）, 岡本 学（崇城大学）,

折本寿子（県立広島大学）, 亀岡弘和（日本電信電話）,

北村大地（香川高等専門学校）, 木下慶介（日本電信電話）,

近藤和弘（山形大学）, 阪内澄宇（日本電信電話）,

鯫島俊哉（九州大学）, 杉本岳大（日本放送協会）,

蘭田光太郎（長崎大学）, 谷川将規（清水建設）,

菅木禎史（千葉工業大学）, 戸上真人（LINE）,

TREVINO Jorge（東北大学）, 中山雅人（大阪産業大学）,

西川剛樹（パナソニック）, 羽田陽一（電気通信大学）,

藤坂洋一（リオン）, 堀内俊治（KDDI 総合研究所）,

水町光徳（九州工業大学）, 宮崎亮一（徳山工業専門学校）,

宮部滋樹（筑波大学）, 三好正人（金沢大学）,

若林佑幸（首都大学東京）, 渡邊貴治（秋田県立大学）

※ 敬称略・五十音順, 下線は新任（予定）

2.2. 研究会について

平成 31 年度は全 7 回の研究会を開催する予定です。開催月日、開催地、テーマ、共催は下記のとおりです。6 月には、前年に引き続き情報処理学会音楽情報科学研究会音学シンポジウムに協賛します。10 月には、NHK 放送技術研究所にて聴覚研究会委員会・高臨場感オーディオ調査研究委員会との共催研究会を予定しております。この研究会では、高臨場感音響・立体音響をテーマとして、デモセッションの実施も予定しております。また、11 月には、マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会との共催でビギナーズセッションの実施を予定しております。そのほかの開催は例年どおりを予定しております。

表 2 平成 31 年度 応用・電気音響研究会 活動予定（7 回）

開催月日			開催地	テーマ (一般は省略)	共催 ^{*1}	その他
月	日	曜日				
4			休会			
5			休会			
			休会			
6	(22) (23)		(京都大学)		(情報処理学会音楽情報 科学研究会音学シンポジ ウムに協賛)	
7	16 17		札幌市民交流プラザ（札幌市）	応用／電気音 響、聴覚、建築 音響、音響教育	日本音響学会聴覚研究 会、日本音響学会建築音 響研究会、日本音響学会 音響教育研究会	
8	8 9		東北大学	応用／電気音 響、聴覚	日本音響学会聴覚研究会	
9			休会			
10			NHK 放送技術研 究所（世田谷区）	高臨場感オーデ ィオ、立体音響	日本音響学会聴覚研究 会、日本音響学会高臨場 感オーディオ調査研究委 員会	
11			北陸地区	<ビギナーズセ ッション>応用 ／電気音響、コン テンツ処理、電子 透かし	マルチメディア情報ハイ ディング・エンリッチメン ト研究会	
12			未定	応用／電気音響		
1			関西大学	応用／電気音 響、超音波	<音響・超音波サブソサ イエティ合同研究会> (併催) 超音波研究会、 日本音響学会超音波研究 会	
2			休会			
3			未定	応用／電気音 響、音声、信号 処理	音声研究会 信号処理研究会 (協賛) IEEE SPS KC/SC	

2.3. 研究発表会および大会について

例年どおり、日本音響学会秋季及び春季研究発表会、及び電子情報通信学会ソサイエティ大会及び総合大会のプログラム編成に関わる予定です。

以上